

『10代青年における深刻な悩みや 困りごとの相談相手の調査』の参加について

◆研究の目的◆

深刻な悩みや困りごとがある場合、通常は誰かに相談するかもしれませんが、しかし、全ての方が相談できるわけではなく、特に、精神科の患者さんは、深刻な悩みや困りごとを誰にも打ち明けられないことがあります。語ることが辛い患者さんもいらっしゃいます。このような深刻な悩みや困りごとが語られない場合、その患者さんへの医療や福祉といった専門機関の危機介入が遅れ、自分を傷つけるといった事象にまで及んだ段階で初めて発覚することとなる場合があります。しかし、10代の精神科患者さんが、相談することが本当にできないかどうか、同じく10代で、これまでに精神科を受診する必要がなかった方と比較する必要があります。

そこで、今回の研究では、これまでに精神科受診する必要のなかった方、すなわち、精神科受診歴のない方だけでなく、不登校歴のない方、故意に自分を傷つけたことのない方を対象に、深刻な悩みや困りごとがあるときに相談相手がいるかどうかのアンケート調査を行います。この結果を精神科患者さんの結果と比較し、10代の精神科患者さんが、深刻な悩みや困りごとを相談できないかどうかを明らかにします。このアンケート調査をきっかけに何か不安や質問などがございましたら、研究担当医師の小田先生または高輪台校保健管理医の村上先生にご連絡ください。

参加していただける方は、保護者の方の同意が必要となります。保護者の方にこのリーフレットをお渡し、右のQRコードより同意手続きをしていただくか別紙の同意書にて同意手続きをお願いいたします。また、今回実施したアンケート調査の結果は、将来、10代の精神科患者さんとの比較以外の研究に使う場合がございますので、ご了承ください。

研究実施者・問い合わせ先

東海大学医学部付属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：2261）
研究担当者 精神科 助教 小田 暁（E-mail/oa9695@tokai.ac.jp）
研究責任者 精神科 教授 三上 克央
高輪台校保健管理医 村上 健

調査概要・参加条件について

【調査概要】

深刻な悩みや困りごとがある場合の相談相手

【参加していただける方】

- 東海大学付属高輪台高等学校・中等部に在籍する生徒
- 13歳～18歳
- 本研究への参加にあたり十分な説明を受け、本人及び保護者の自由意思により書面かFormsによる同意を得られた者

【参加していただけない方】

- 精神科受診歴がある方
- 故意に自分を傷つける行為を過去に行ったことがある方
- 不登校になったことがある方
- 書面かFormsの同意書に保護者名が未記載、未入力の方
- アンケートの検査結果を求める方
- 研究責任者、実施者、保健管理医が不適当と判断した方
- 予定対象者人数に達した場合

日程・テスト方法について

【研究日程】

実施場所/学校敷地内

実施日/参加同意書に入力いただいた生徒さんのメールアドレスに場所・日付・時間をご連絡いたします。

【テスト方法】

アンケート用紙（A4サイズ）にこちらで用意した鉛筆で回答していただきます。約3分～5分程度で終了となります。

同意手続き QR コード

右のQRコードよりアクセスいただき、保護者の方とよく相談し参加してください。

書面の同意書については別紙用意しておりますので、お手元がない場合は研究担当者までご連絡ください。

